

- 問1

タイなどの熱帯地域において、雨季に集中する降水量による洪水被害を避けたり、年間を通じた高温多湿な気候の中で風通しを良くしたりするために発達した、伝統的な建築様式の特徴として正しいものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 地面を掘り下げて床とし、その上に屋根をかけた竪穴式

2. 熱を逃がさないように壁を厚くし、窓を小さくした石造り

3. 床を高く作り、地面との間に空間を設ける高床式

4. 砂漠の熱を防ぐために、日干しれんがを積み上げた平屋造り
- 問2

1月の平均気温がマイナス20度を下回るほど厳寒である一方、7月には20度近くまで気温が上昇し、1年を通じた気温の差（年較差）が非常に大きい気候帯があります。この気候帯の名称と、そこに広がる広大な針葉樹林の呼び名の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 寒帯とツンドラ

2. 熱帯とジャングル

3. 亜寒帯（冷帯）とタイガ

4. 温帯と混合林
- 問3

四季の変化がはっきりとしており、夏季に海からの湿った季節風（モンスーン）の影響を受けて気温が上がり、降水量も多くなるのが特徴の気候区分は何ですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. サバナ気候

2. 温暖湿潤気候

3. 地中海性気候

4. 西岸海洋性気候
- 問4

冷帯（亜寒帯）が、より高緯度に位置する「寒帯」と区別される最大の要因として、夏の気温の推移に着目した説明として適切なものはどれですか。（2022年 和歌山県公立入試 類似）

1. 短い夏の間、樹木が成長できる目安となる10度以上にまで気温が上がるため。

2. 夏の間も氷点下を下回り、常に氷雪に覆われた状態が続くため。

3. 夏には40度を超える酷暑となり、水分の蒸発量が降水量を上回るため。

4. 偏西風の影響により、夏の間は常に涼で湿潤な天候が維持されるため。
- 問5

日本が1月で厳しい寒さを迎えているとき、南半球に位置するアルゼンチンのブエノスアイレスにおける気候や生活の様子として、最も適切なものはどれですか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）

1. 四季の変化がほとんどなく、1年を通じて雪が降り続く氷雪気候となっている

2. 北半球の多くの国と同様に冬の時期にあたるため、厚着をして寒さをしのいでいる

3. 平均気温が1年の中で最も高くなり、夜も寝やすいほどの暑さになる

4. モンスーンの影響を強く受けるため、1月は冷たい雨が降り続く時期にあたる
- 問6

世界の主要な農作物の統計において、生産量では中国（17.6%）が首位で、これに次いでインドなどの人口の多い国が上位を占めている一方、輸出量ではロシア（13.8%）が首位となり、アメリカ合衆国やカナダが上位に並んでいる作物として最も適切なものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）

1. 大豆

2. 小麦

3. とうもろこし

4. 米
- 問7

ブラジルなどの国々で、サトウキビなどを原料として生産され、ガソリンに混ぜるなどして自動車の燃料に利用されているエネルギー資源を何といいますか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

1. 天然ガス

2. シェールガス

3. 化石燃料

4. バイオエタノール
- 問8

中国の連雲港市は、明瞭な四季の変化に加え、海外資本を積極的に導入することで目覚ましい経済発展を遂げています。このような大陸東岸の温暖湿潤気候の地域が、産業の発展や企業の進出に適している背景として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 偏西風と暖流の影響で緯度のわりには冬も温暖であり、不凍港を利用した北極圏との貿易が一年中可能であるため。

2. 夏の極端な乾燥を克服するために高度な灌漑技術が発達し、それが精密機械工業などの技術力に直結したため。

3. 年間を通じて高温多湿であり、広大な熱帯雨林を活用した林業やプランテーション農業に特化した経済構造を築きやすいため。

4. 季節風による豊かな降水量が産業用水を支え、中緯度の穏やかな環境が大規模な労働力の確保や都市形成を容易にしているため。
- 問9

熱帯地域の一部で行われている焼畑農業において、森林や草原を焼く最大の目的として正しいものはどれですか。（2019年 山口県公立入試 類似）

1. 害虫を駆除すると同時に、輸出用の商品作物を栽培する日当たりを確保するため。

2. 大規模な農機具を導入するために、障害となる樹木をすべて取り除くため。

3. 燃やした後の熱を利用して土壌を殺菌し、連作障害を防ぐため。

4. 木々を燃やしてできた灰を、農作物を育てるための肥料として利用するため。
- 問10

2000年から2020年にかけての世界の茶の統計データに基づき、主要生産国の動向について述べた文として、内容が正しいものはどれですか。（2026年 京都府公立入試 類似）

1. スリランカは急激な工業化にともない、茶の生産量と輸出量の両方において世界シェアをほぼ失った。

2. インドは国内の茶の需要がなくなったため、生産した茶の全量を輸出に回すようになった。

3. 中国は世界の生産量の4割以上を占めるまでに成長したが、輸出量におけるシェアはスリランカやケニアも依然として高い。

4. ケニアは茶の生産技術の向上により、2020年時点で中国を抜いて世界第1位の生産国となった。
- 問11

東南アジアのマレーシア周辺などのように、一年を通して月平均気温が常に25度を超え、毎月の降水量が200mm前後におよぶ熱帯の地域で見られる「高床式」の住居について、このような建築構造にする主な理由として最も適切なものはどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 地面からの湿気を防ぐとともに、風通しを良くして暑さを和らげるため

2. 冬の厳しい寒さに備え、地面からの冷気が室内に直接伝わるのを防ぐため

3. 砂漠地帯特有の激しい砂嵐が室内に侵入するのを防ぎ、乾燥した熱気を遮断するため

4. 夏に永久凍土が解けることで、建物が沈んだり傾いたりするのを防ぐため
- 問12

中国、インド、ロシア、アメリカ、フランスといった、気候や地域が異なる幅広い国々が主要な生産国となっている「小麦」の栽培の特徴について、正しい説明はどれですか。（2019年 高知県公立入試 類似）

1. 熱帯の高温多雨な地域での栽培に最も適しており、東南アジアに生産が集中している

2. 生産国は南半球の国々に限定されており、北半球ではほとんど生産されていない

3. 生育に大量の水を必要とするため、常に水をためた耕地で栽培する必要がある

4. 乾燥や寒さに比較的強いいため、世界各地の広い範囲で栽培されている
- 問13

地中海性気候に属する南半球の都市において、12月や1月の降水量が非常に少なくなる理由として、最も適切な説明を次のうちから1つ選びなさい。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 南半球では7月頃が夏にあたり、地中海性気候では夏に降水量が多くなるから。

2. 南半球では年間を通して季節の変化がなく、降水量が常に少ないから。

3. 南半球では12月や1月が冬にあたり、地中海性気候では冬に降水量が少なくなっているから。

4. 南半球では12月や1月が夏にあたり、地中海性気候では夏に降水量が少なくなっているから。